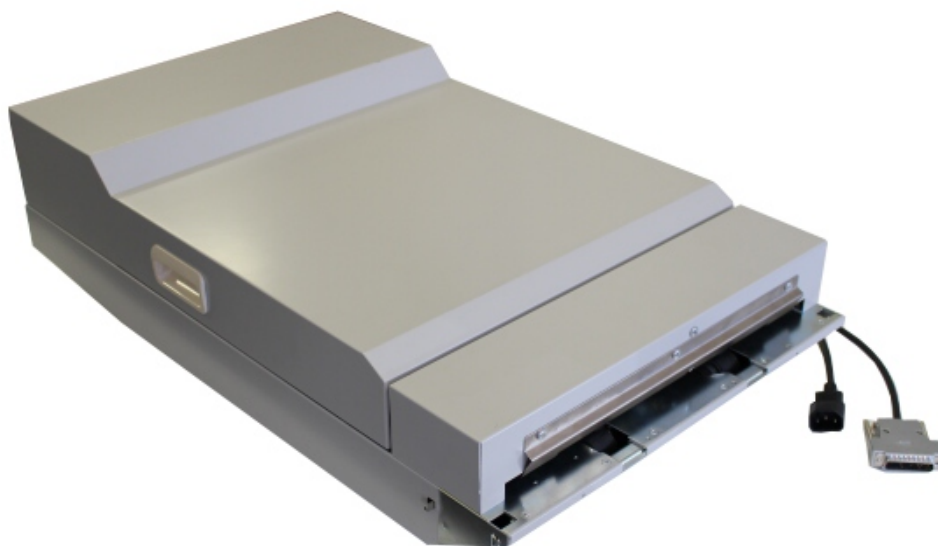


取扱説明書

ステープラパンチ LC-502



ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。





株式会社 **ライオン事務器**

March.9.2022

警告表示について

本機を正しくお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような警告表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を説明しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

本機は卓上で使用する製品です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 「安全上の注意」に使用されている絵表示の例。






⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は分解禁止)








● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)

安全上の注意

⚠ 警 告

	<p>交流 100V 以外の電圧で使用しないでください。</p> <p>またタコ足配線しないでください。火災・感電のおそれがあります。</p>
	<p>この機器の上に花瓶・植木鉢・コップや水の入った容器を置かないでください。</p> <p>こぼれたり、水が中に入った場合、火災・感電のおそれがあります。</p>
	<p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。</p> <p>また、コードの上に重いものを乗せたり、引っぱったり、無理に曲げようとしないでください。</p> <p>電源コードを傷め、火災・感電のおそれがあります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。</p> <p>感電のおそれがあります。</p>
	<p>のアース線を必ず接続してください。アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。アース線を接続しないで万一、漏電した場合は、火災や感電のおそれがあります。</p>
	<p>この機器のカバーは外さないでください。</p> <p>感電やけがのおそれがあります。</p>
	<p>この機器の分解はしないでください。</p> <p>感電やけがのおそれがあります。</p>
	<p>発熱していたり煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源スイッチを切り、販売店もしくはお客様相談室までご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。</p>
	<p>異物（金属片・水・液体）が機器の内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店もしくはお客様相談室までご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。</p>

⚠ 注 意

	駆動部分には手を触れないでください。 けがの原因になります。
	開閉部分には指を入れないでください。 けがの原因になります。
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部に近づけないでください。 けがの原因になります。
	本機器は卓上に設置して使用するよう設計されています。 設置の際は、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 火災・感電の原因になります。
	ステープラパンチ用紙入り口の隙間には、絶対に指などを差し込まないでください。 けがの原因となることがあります。
	用紙を取り除く際など本体内部に手を入れる場合は、突起物や板金の端に触れないようにご注意ください。 けがの原因となることがあります。
	電源コードを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを持って引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	本機器を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 コードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	連休等で長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

はじめに

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。

この「取扱説明書」は、必要な時にいつでもお読みになれるように、保管場所を決めて大切に保管してください。

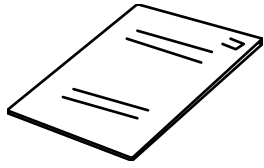
この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

目次

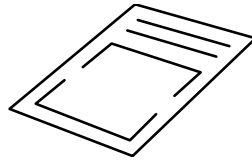
1.	付属品	7
2.	製品各部の名称	7
3.	特に注意していただきたいこと	
3.1	用語の定義	8
3.1.1	マーク解説	8
3.1.2	用語解説	8
3.2	特徴および使用目的	8
3.3	使用しないとき	8
3.4	使用上の注意	8
3.5	印刷物についての注意	8
4.	使用方法	
4.1	設置方法	9
4.2	操作の手順と方法	10
4.3	トラブル表示と対応	13
4.4	パンチカスの処理方法	14
4.5	印刷物の載せ方とステープル及びパンチ穴の位置	14
4.6	針カートリッジの交換方法	15
4.7	針詰まりの直し方	16
5.	消耗品	17
6.	トラブル時の処置	
6.1	トラブルの内容と処置	18
6.2	故障の場合	20

7.	移設または廃棄するとき	
7.1	移設	
7.1.1	旧設置場所からの撤去作業	20
7.1.2	運搬	20
7.1.3	移設先での設置	20
7.2	廃棄	20
8.	製品仕様	21

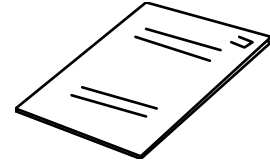
1. 付属品



取扱説明書

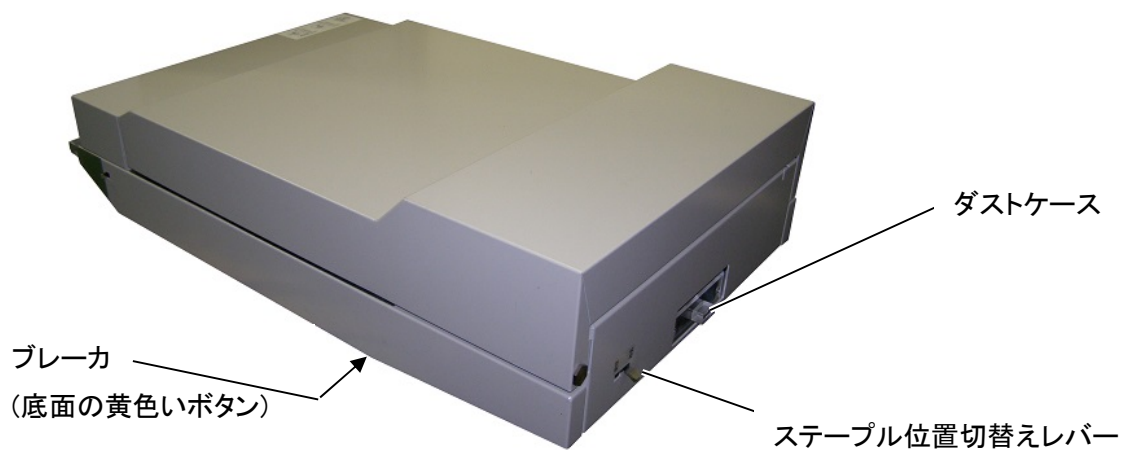
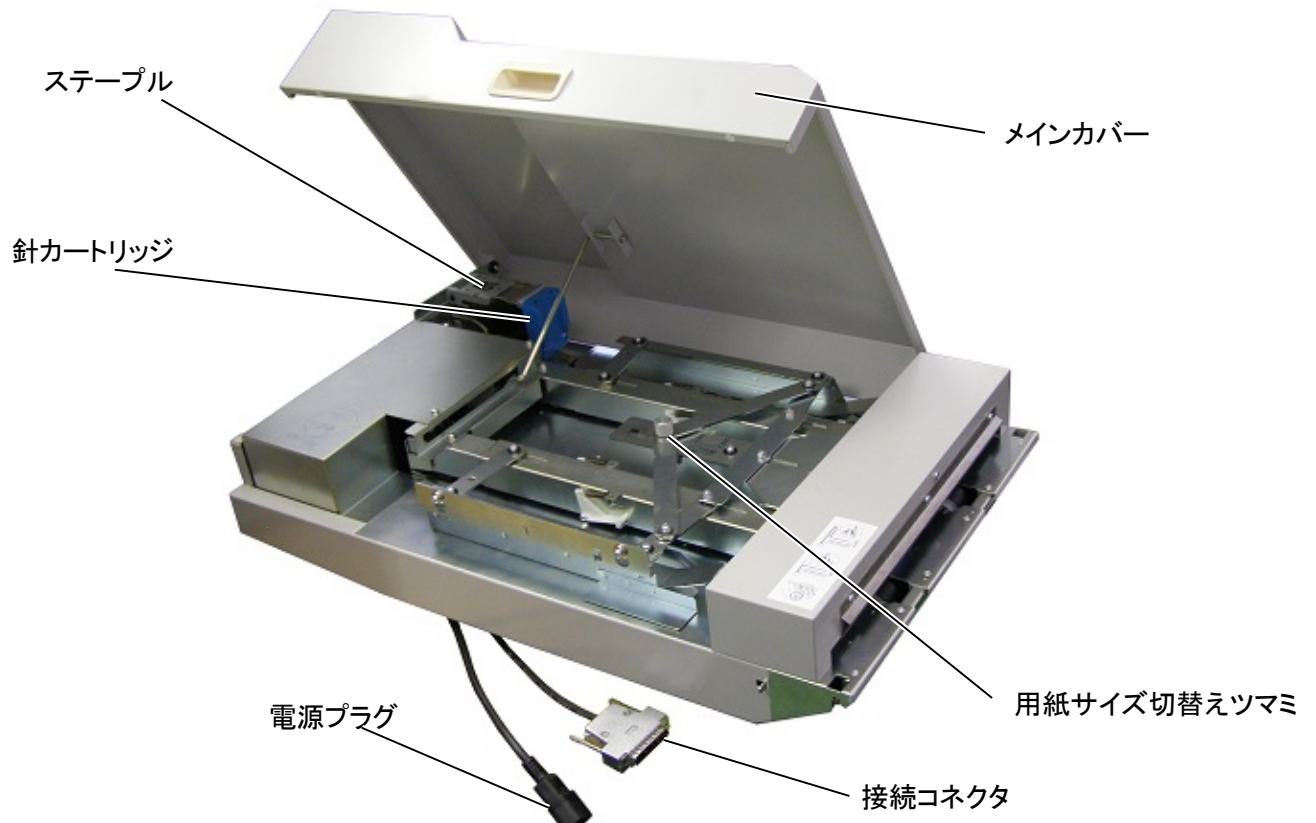


簡易マニュアル



保証書

2. 製品各部の名称



3. 特に注意していただきたいこと

3.1 用語の定義

3.1.1 マーク解説

注意! 注意していただきたいことです。

ポイント! 知っている则便利なことです。

3.1.2 用語解説

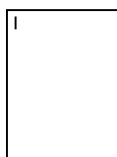
名称	解説
ジャム	用紙が機械内部で詰まること

3.2 特徴および使用目的

- ・A3 サイズまでの用紙へのステープル綴じとパンチ穴を開けることができます。
- ・下記の切替えが可能です。



ステープル
パンチ
両方使用



ステープル
のみ使用



パンチ
のみ使用

3.3 使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。

3.4 使用上の注意

- ・電源プラグをコンセントに差し込むときは、奥まで完全に差し込んでください。
- ・機械内部に異物を落とさないように注意してください。
- ・運転中に電源を切らないでください。
- ・異音、異臭、発煙した場合、ただちに電源スイッチを切り、販売店もしくはお客様相談室までご連絡ください。

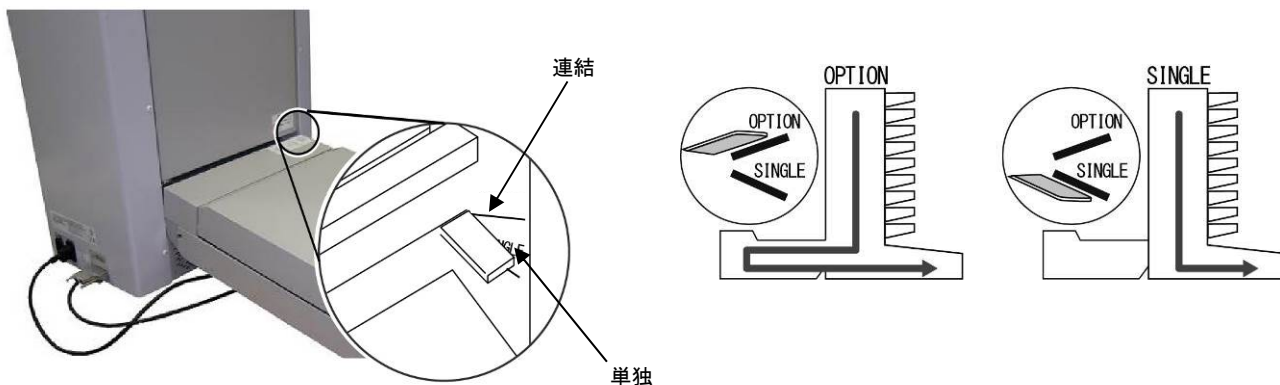
3.5 印刷物についての注意

- ・ステープル又はパンチ部でズレ、紙詰まりが多発する場合は、印刷後最低 1 日(24 時間)以上放置してインクを良く乾かしてから作業を行ってください。また、用紙に変形、反りが無い事を合わせてご確認ください。
- ・ステープル部、パンチ穴加工部に印刷されている用紙ではズレ、紙詰まりが発生する場合がありますので、この部分には印刷をしない様、印刷物を作成してください。

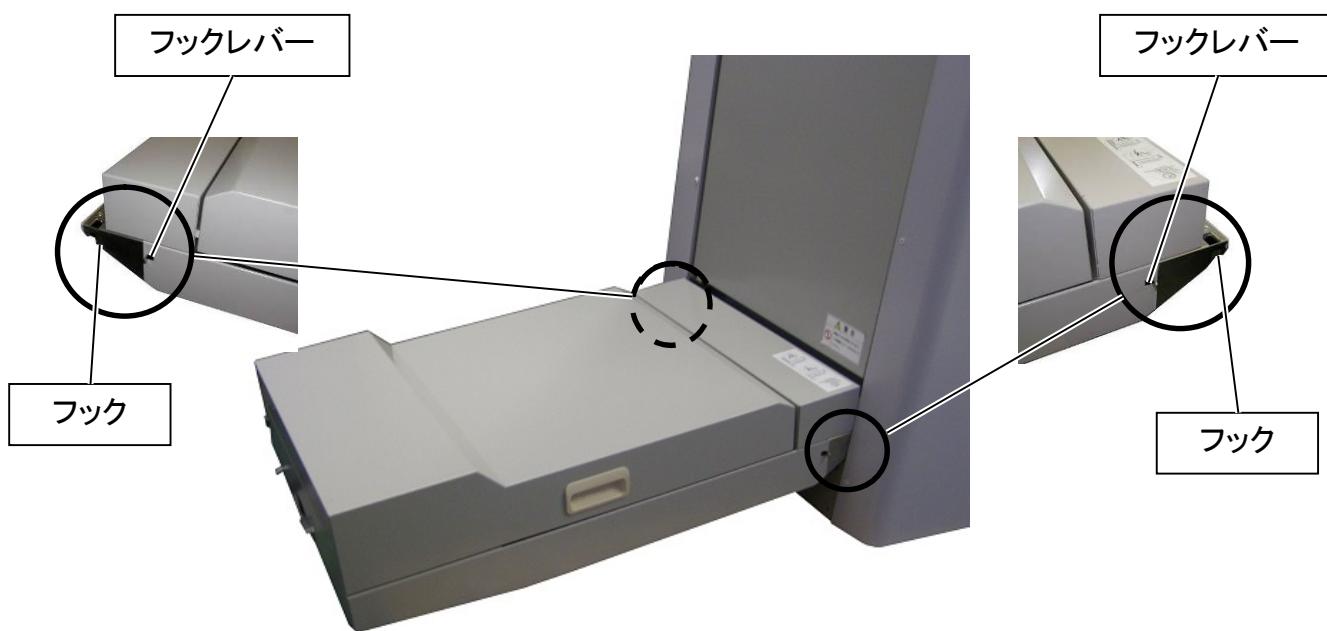
4. 使用方法

4.1 設置方法

(1) 切替えレバーを連結(OPTION)側(上方向)に切替えます。



(2) ステープラパンチのフック(左右2カ所)をコレータのフックピン(左右2カ所)に確実に引っ掛けます。取外すときは、ステープラパンチのフックレバー(左右2カ所)を引きながら取外してください。



(3) ステープラパンチの接続コネクタをコレータの接続コネクタに差し込み、接続コネクタに据え付けの2個のネジで固定します。

注意!

コネクタは差し込み方向に注意して差し込んでください。

(4) ステープラパンチの電源プラグをコレータのオプション電源に差し込みます。



4.2 操作の手順と方法

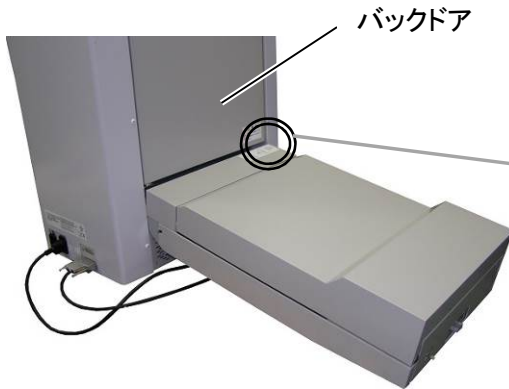
本機を使用するときは、コレータ本体の取扱説明書も参照してください。

(1) コレータの電源スイッチを入れます。

電源スイッチ



(2) バックドアを開いて、切替えレバーを連結側(上方向)に切替えます。

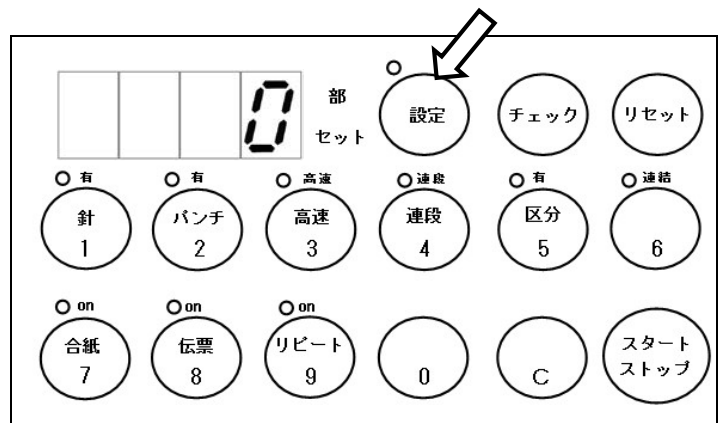


バックドア



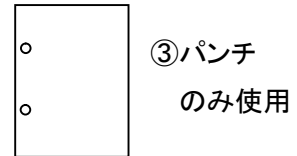
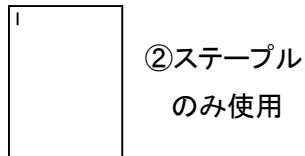
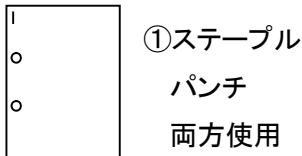
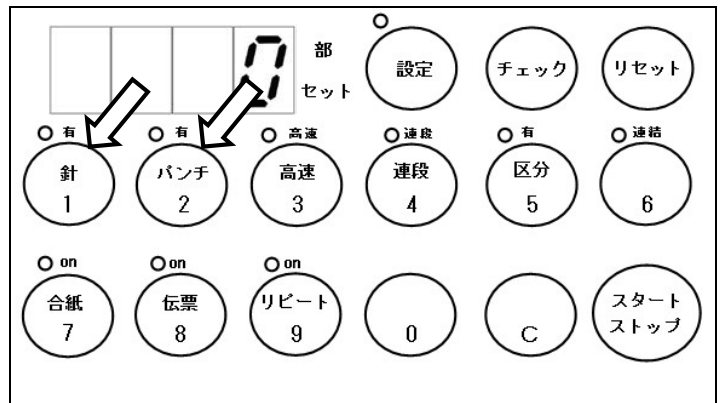
切替えレバー

(3) コレータの操作パネルの「設定」キーを押して
設定モードに切替えます。
(設定ランプ点灯)



(4) コレータの操作パネルの「針/1」キー
 又は「パンチ/2」キーを押します。
 選択したキーが点灯して設定が有効になります。

- ①ステープル、パンチいずれも点灯
- ②ステープルのみ点灯
- ③パンチのみ点灯



(5) コレータの各段に用紙をセットし、給紙ガイド・排紙
 ガイド左右・排紙ポール・排紙突き当てを用紙サイ
 ズに合わせます。
 コレータの取扱説明書を参照

注意！

用紙はきれいに揃えて、給紙ガイドにピッタリと密着さ
 せてください。用紙のセットが不揃いな場合、ステー
 プラパンチにて加工時の用紙が不揃いになります。

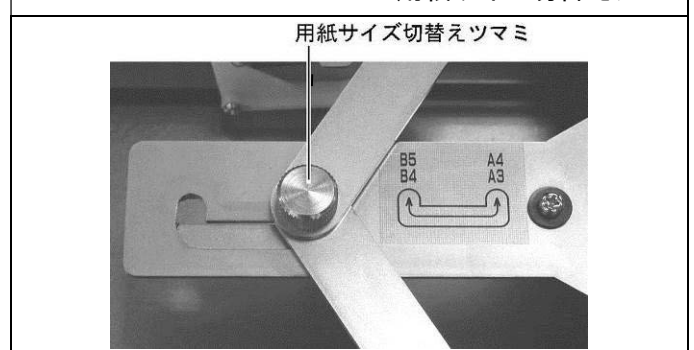


(6) メインカバーを開け、用紙サイズ切替えツマミを用紙
 サイズに合わせます。



注意！

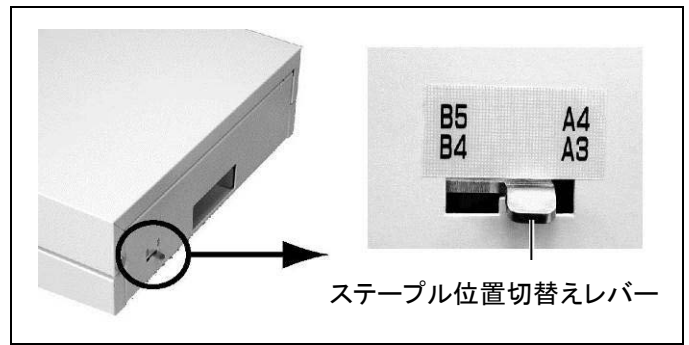
用紙サイズに合った位置に切替えずに操作を行うと、
 故障の原因になります。



(7)ステープル位置切替えレバーを用紙サイズに合わせます。

注意!

用紙サイズに合った位置に切替えずに操作を行うと、故障の原因になります。



注意



メインカバーは、運転中は絶対に開けないでください。
事故の原因になります。

注意!

・メインカバー開閉時は指挟みに注意してください。




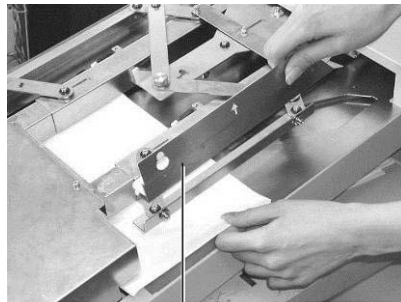
注意




・メインカバー開閉時は指挟みに注意してください。
けがの原因になります。

4.3 トラブル表示と対応

- 機械は停止し、操作パネルの
部分のエラーランプが
 点滅します。
- ・ジャムが発生した場合 → メインカバーを開けて左揃えガイドを取外し、用紙を横から取除いてください。



左揃えガイド

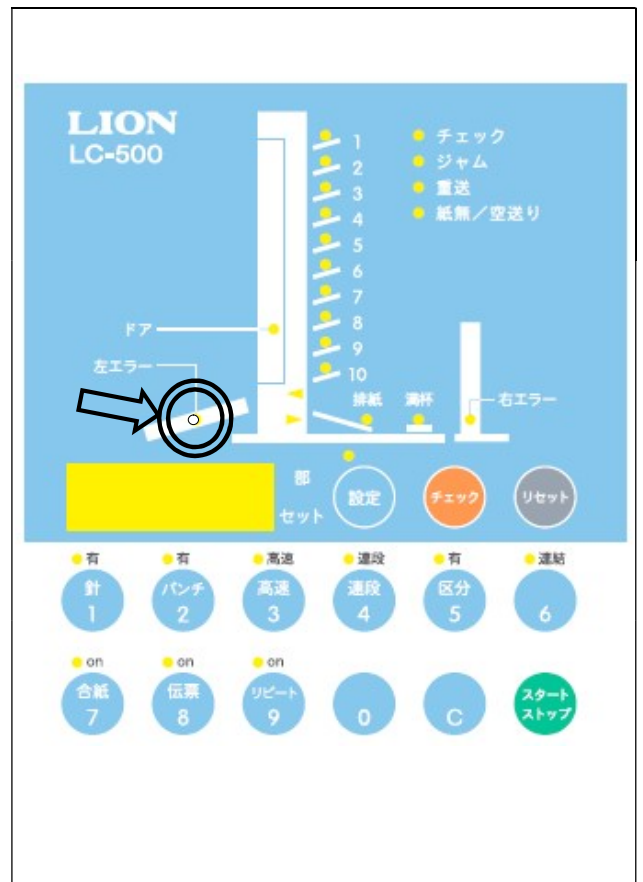
- 機械は停止し、操作パネルの
部分のエラーランプが
 点滅します。
- ・針なし及び針詰まりが発生した場合 → 「4.6 ステープレ針カートリッジの交換方法」又は「4.7 針詰まりの直し方」を参照してください。

- ・コレータ側の給紙トラブルの場合 → ステープレ及びパンチの加工はせずに、そのまま排紙されます。コレータ取扱説明書「6. トラブル時の処置」を参照してください。

- ・センサーが汚れている場合 →



○印の下辺りにあるセンサーの表面(黒いレンズ)にたまった紙粉やほこりを綿棒で清掃してください。

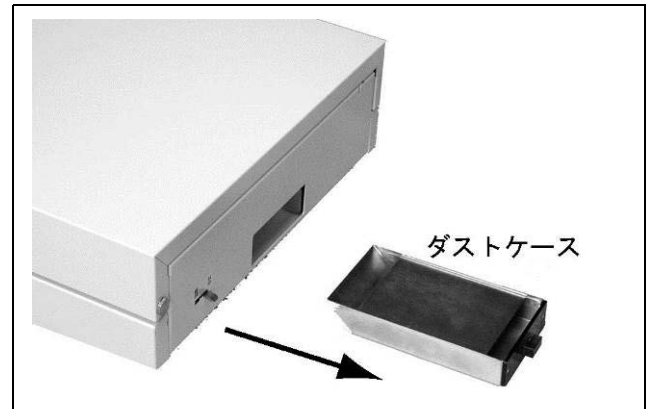


4.4 パンチカスの処理方法

パンチカスがダストケースにたまってきたら、ダストケースを手前に引き抜いてパンチカスを捨ててください。

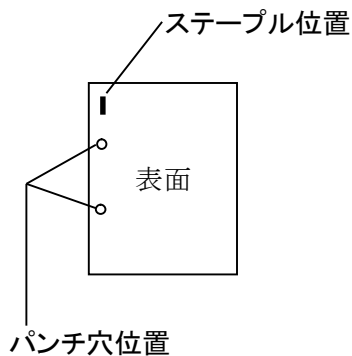
注意！

300 丁合程度でダストケースが満杯になりますので必ず捨ててください。そのまま続けた場合、紙詰まりが発生します。また、丁合の最初にも必ずパンチカスを捨てるようにしてください。



4.5 印刷物の載せ方とステープル及びパンチ穴の位置

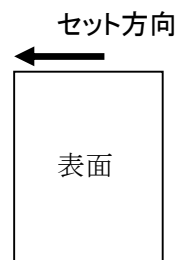
・A4 縦、B5 縦の書類の左肩にステープルするとき



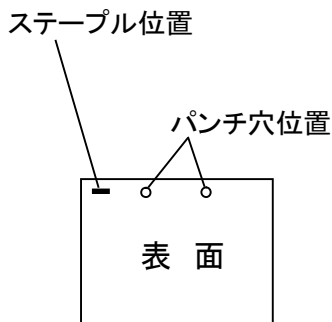
ページ順に上から載せる



印刷面を上にする



・A4 横、B5 横の書類の左肩にステープルするとき

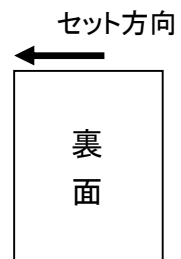


針の向きが裏向きになります。

ページ順に下から載せる

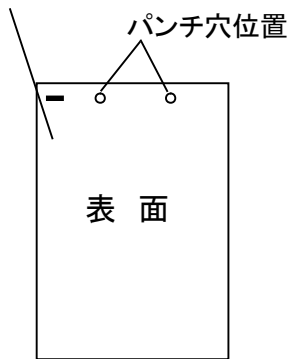


印刷面を下にする



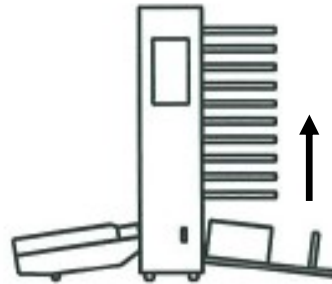
・A3 縦、B4 縦の書類の左肩にステープルするとき

ステープル位置

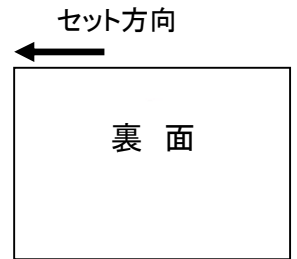


針の向きが裏向きになります。

ページ順に下から載せる

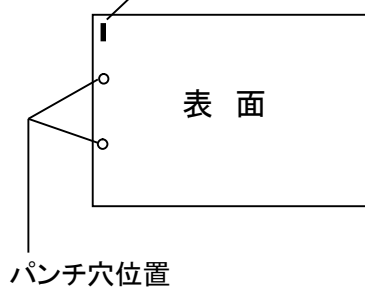


印刷面を下にする

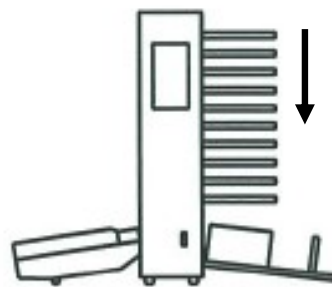


・A3 横、B4 横の書類の左肩にステープルするとき

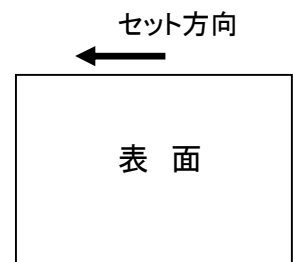
ステープル位置



ページ順に上から載せる



印刷面を上にする

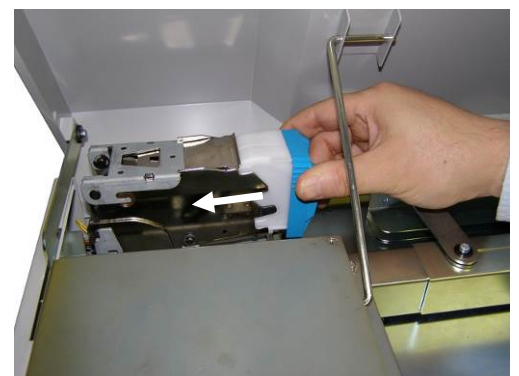


4.6 針カートリッジの交換方法

- (1) コレータ本体の電源スイッチを切ってください。
(事故防止のため、必ず行ってください)
- (2) メインカバーを開き、針カートリッジのプラスチック部分を持って引き抜きます
- (3) 新しい針カートリッジをステープルの奥に突き当たるまで確実に差し込んでセットします。

注意!

奥まで押し込まれない状態の場合、針が正常に打たれません。



4.7 針詰まりの直し方

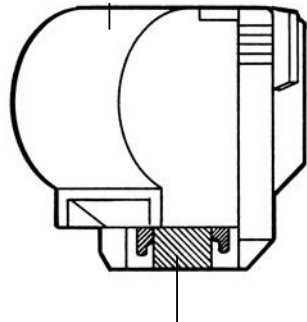
- (1) コレータ本体の電源スイッチを切ってください。
(事故防止のため、必ず行ってください)
- (2) メインカバーを開き、針カートリッジのプラスチック部分を持って矢印方向に引き抜きます

注意!

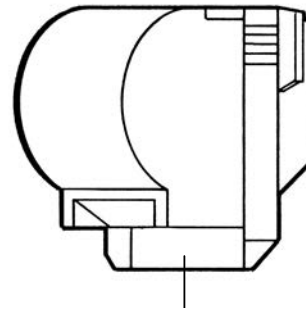
クリンチ部に針や用紙が残っている場合は、取除いてください。



針カートリッジ

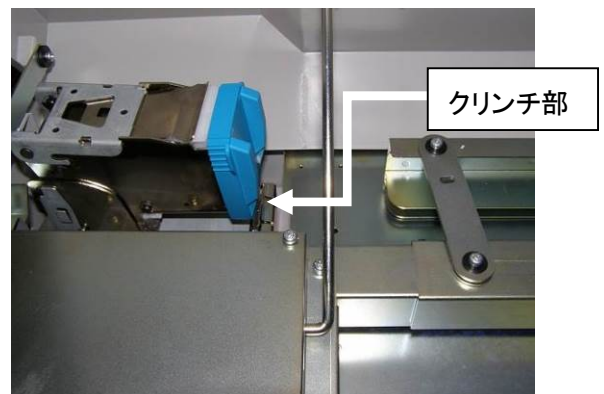


金具がこの位置にあれば
問題ありません



金具がこの位置にない場合は左図
の位置まで手で引き出してから機械
にセットしてください

- (3) ステープルの試し打ちをします。
ステープルのクリンチ部分に試し打ち用の用紙を
はさみ、メインカバーを閉じます。



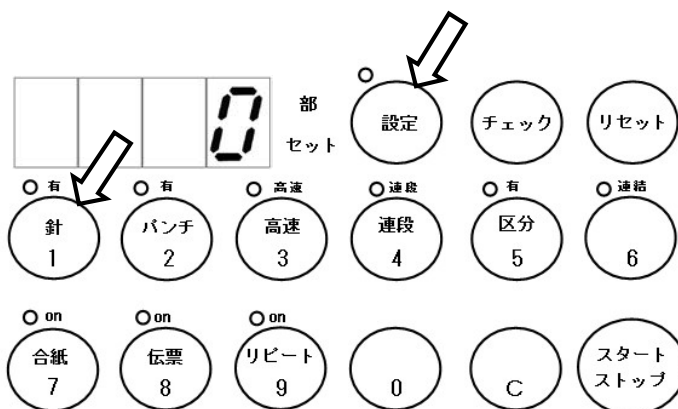
- (4) コレータの操作パネルの「設定」キーを押して設定モードに切替えます。

(設定ランプ点灯)

- (5) コレータの操作パネルの「針/1」キーを3秒以上押します。

ガチャンと音がして、針打ち動作をします。

- (6) 試し打ち用の用紙に針が打たれるまで(4)(5)を繰り返してください。



注意!


連続して試し打ちする場合は、用紙をずらして同じ場所に打たないようにしてください。針詰まりの原因になります。

5. 消耗品

846-40 LC-502.402N 用針(5000 針入り×3 カートリッジ)

6. トラブル時の処置

6.1 トラブルの内容と処置

現象	原因	処置
ステープラパンチに切替わらない	切替えレバーが単独になっている	切替えレバーを連結に切替える
	コレータとステープラパンチを接続する接続コネクタと電源プラグが接続されていない	接続コネクタと電源プラグを接続する
	ステープラパンチのブレーカが切れている	 ブレーカ(底面の黄色ボタン)を押す
用紙が揃わない	コレータの各段にのせられた用紙がきれいに揃っていない	用紙をきれいに揃え、ガイドを用紙に密着させる
	用紙が変形、カール、破損している	カール等は矯正し、変形、破損している用紙は使用しない
	印刷後、間もない用紙を使用している	印刷後、最低 1 日(24 時間)以上経過してから(インクが乾いてから)使用する
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する
	用紙サイズ切替えつまみが用紙サイズに合っていない	つまみを用紙サイズに合わせる
	コレータの各段にのせられた用紙の寸法が一定でない	同寸法の用紙を使用する
	ステープラパンチがコレータに正しく取付けられていない	ガタのないよう正しく取付ける
用紙がコレータからステープラパンチ内に入るときに詰まる	ステープラパンチがコレータに正しく取付けられていない	ガタのないよう正しく取付ける
	用紙通過部に異物がある	異物を取除く
	用紙がカール、変形している	カールを矯正し、変形していない用紙を使用する
用紙がステープラパンチからコレータへ戻るときに詰まる	用紙が上側にカール、変形している	カールを矯正し、変形していない用紙を使用する
	ステープラパンチがコレータに正しく取付けられていない	ガタのないよう正しく取付ける
	用紙の通過部に異物がある	異物を取除く

現象	原因	処置
排紙テーブルで用紙が詰まる	排紙テーブルの隙間に用紙引っ掛かって詰まる	排紙テーブルに使用サイズと同じサイズの用紙を1枚置いて作業をする
針が空打ちする	針カートリッジが入っていない	針カートリッジを正しくセットする
	針シートが規定位置まで届いていない	試し打ちをする
	針が針カートリッジの先端で詰まっている	正常に戻す
	針カートリッジが正しくセットされていない	正しくセットする
ステープラーが働かない	針モードになっていない	「設定」キー→「針/1」キーを押す (針有ランプ点灯)
	ステープラパンチを接続する接続コネクタと電源プラグが外れている	接続コネクタと電源プラグを確実に接続する
	ステープラパンチのブレーカが切れている	 ブレーカ(底面の黄色ボタン)を押す
	ステープル可動部に異物がはさまっている	異物を取除く
パンチが働かない	パンチモードになっていない	「設定」キー→「パンチ/2」キーを押す (パンチ有ランプ点灯)
	コレータとステープラパンチを接続する接続コネクタと電源プラグが外れている	接続コネクタと電源プラグを確実に接続する
	ステープラパンチのブレーカが切れている	 ブレーカ(底面の黄色ボタン)を押す
	パンチ可動部に異物がはさまっている	異物を取除く
コレータの操作パネルの左エラーランプが点灯する	メインカバーが開いている	メインカバーを閉じる
コレータの操作パネルのカウンター部にErr4が表示される	針とパンチの両モードが指定されていない	針かパンチいずれかを選択する
用紙サイズ切替えツマミが動かない	停止位置が正しい位置にない	メインカバーを閉じて電源を入れ直す

6.2 故障の場合

修理が必要な故障の場合は、販売店もしくはお客様相談室までご連絡ください。

7. 移設または廃棄するとき

7.1 移設

7.1.1 旧設置場所からの撤去作業

- ・電源プラグと接続コネクタをコレータ本体から外す。
- ・ステーブラパンチをコレータ本体から取外す。

7.1.2 運搬

- ・取外した部品や付属品、取扱説明書を一緒に運ぶ。
- ・強い振動や衝撃を与えないようにする。

7.1.3 移設先での設置

機械（単独・オプション使用時とも）を移動するときは販売店もしくはお客様相談室にご相談ください。

7.2 廃棄

廃棄する際は、各地方自治体の政令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど、適切な処理をしてください。

8. 製品仕様

用紙サイズ	A3/B4 は縦給紙、A4/B5 は横給紙のみとする
紙質	52g/m ² ~128g/m ² (上質紙, 上質孔版紙, 中質紙)
処理能力	ステープル+パンチ :11 セット/分(A4 給紙時) ステープルのみ :14 セット/分(A4 給紙時) パンチのみ :11 セット/分(A4 給紙時)
パンチ穴寸法	直径 φ6 mm 2カ所 ピッチ 80 mm A4、B5 は長辺側中央に加工 A3、B4 は短辺側中央に加工
ステープル針	専用針(5000 本入り)
機能種類	・コーナーステープル+2 穴パンチ ・コーナーステープル ・2 穴パンチ
電源	100V±10% 50Hz±3Hz 60Hz±3Hz
消費電力	19W 以下
機械寸法	W660×D390×H187 mm, W1315×540×1060 mm(コレータ接続時)
質量	19kg

本機の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

取扱説明書

ステープラパンチ LC-502

お客様相談室

フリーダイヤル

お問い合わせは平日午前9時より12時、午後1時より5時とさせていただきます。

TEL ☎ 0120-074416 FAX ☎ 0120-402539



株式
会社

ライオン事務器

本 社 〒164-0003 東京都中野区東中野2丁目6番11号